

# 学会通信（一九九八年十月～十二月）

## 一、学会活動

十一月八日 現代中国学会主催講演会

「中日外資政策の比較研究」楊棟梁（南開大学日本研究中心所長）

十一月九日 現代中国学会主催講演会

「クリントン訪中後の米中関係」潘国華（北京大学国際関係学院副院長）

十二月二日 現代中国学会・法学会共催講演会

「中国の過去・現在・未来」石源華（復旦大学歴史学教授）

## 二、学会員活動

### 今井理之

「中国経済の動向」（豊橋市市民講座、十一月二日）、「調整過程の中国経済」（神戸市阪神——長江・上海交流委員会、十一月二七日）、「人民元の行方」（豊橋市市民講座、十一月二八日）

### 内山俊彦

「元緒思想窺斑」（『日本中国学会創立五十年記念論文集』汲古書院、一〇月）、「中国と日本への二つの見方——内藤湖南と津田左右吉」（岡崎市中央市民センター高齢者国際セミナー、一〇月三一日）。

### 王 硯農

「中国語と日本語をおしやべりする」（愛知大学公開講座、一〇月二四日）。

### 加々美光行

「二二世紀の世界と中国」（愛知大学短大オープンカレッジ連携講座「二二世紀の世界と中国」、十二月二二日）。

## 樫根 勇

「Land Use/Cover」特集号の編集（Hydrological Processes, vol. 12, no. 13, 14「一〇月・十一月」）、「健全な水循環」（学際テーマサロン、一〇月一〇日）、「地下水と地域計画」（富山県地下水利用協議会、十一月二二日）。

### 河辺 一郎

「国連とNGO——政治分野での役割の拡大」（『軍縮問題資料』一一月号）。

### 黄 英哲

「談戦前台湾大衆文学」（共著『中外文学』二七卷六号、一一月）。

### 高 明潔

「中国の少数民族②——内モンゴルにおけるモンゴル族の社会・文化」（愛知大学短大オープンカレッジ連携講座「二二世紀の世界と中国」、一〇月三日）。

### 古森利貞

「中国の新指導体制と日中関係」（愛知大学公開講座、一〇月三一日）、「外務省外交史料館の沿革と機能について」（愛知大学国際問題研究会、二月五日）。

### 高橋五郎

「中国に食糧危機は来るか」（愛知大学短大オープンカレッジ連携講座「二二世紀の世界と中国」、一〇月三一日）、「フィリピンにおける中国人の経済的役割について——その実体的研究」（国際華僑学会、十一月二六日～二八日）。

### 張 琢

「中国社会与現代化」（合作著書、中国社会科学出版社、「本土社会心理学研究的創新之作」（『華中師範大学学报』人文社会科学版第六期）。

中嶋敏夫

「文学」の概念について——『論語』の「大学」をめぐる

『日本中国学会創立五十年記念論文集』汲古書院、一〇月、

『宋詩鑑賞辞典（新装版）』（共著、東京堂出版、一〇月、

藤森 猛

『HSK講座——中国語を身につける五つの要素』（全国大学生

協連合会主催外国語コミュニケーション活動交流会講演、一〇

月二四日）。

松岡正子

「春節①——中国の民俗文化」（愛知大学短大オープンカレッジ

連携講座「二一世紀の世界と中国」、一二月五日、「黄土高原

の春節②——中国の民俗文化」（同前、一二月一九日）。

三好 章

中国社会科学院近代史研究所にて短期学術交流（一〇月五日～

一一月三日）。

「日本の中国近代史研究」（人民大学講演会、一〇月九日）。

「日本の中国近代史研究」（中国社会科学院近代史研究所講演会、

一〇月一五日）。

「日中戦争史研究の現状」（中山艦遭難六〇周年記念国際会議学

術検討会分科会報告、一〇月二四日～二六日）。

「日中戦争史研究の現状」（南開大学歴史系座談会、一二月三日）。

山本 一巳

「アジアの経済発展・危機そして今後①、②」（愛知大学短大

オープンカレッジ連携講座「二一世紀の世界と中国」、一二月

七日、一四日）。

渡辺浩平

「中国・都市の暮らしと文化①、②」（愛知大学短大オープンカレ

ッジ連携講座「二一世紀の世界と中国」、一〇月一七日、二四日）。

中国21 Vol.7 予告（99年7月刊予定）

## 特集 ● 第三世界から見た

### 中国の対外関係

中華人民共和国は自らを第三世界の一員として規定してきた。ところが中国外交は、もっぱら中ソ（ロシア）、中米、中日などの問題を中心に論じられており、いわゆる中国脅威論などもこのような大國間の視点から問題になることが多い。「第三世界の一員」としての中国が語られることは少なく、これでは抜け落ちる論点が多いと言わざるを得ない。日本外交を考える際には、日米関係だけではなく周辺諸國からの視点が必要だ。これと同様である。また中国はさまざまな意味で大國だが、これも米ロ日などの大國から見た場合と中小國から見た場合とは、意味が大きく異なる。そこでこの特集では、中国にとって第三世界とは何だったのか、そして中小國から見た中国外交とは何だったのかを考える。

【インタビュー】中国の国連政策「王傑・朱峰」

【論説】古田元夫「ベトナムから見た中国外交／今川幸雄」「カンボジア紛争と中国外交／北村文夫」「中国外交の軌跡と中東からの視点」／千田善「ベルリンの壁は天安門広場で倒れた——八九年『東欧の激動』と天安門事件／高林敏之」「アフリカの民族自決と中国」／古沢希代子「東チモール紛争と中国」／河辺一郎「台湾の国連再加盟運動をめぐる」ほか